

E サスペンション

WT ロードホイール・タイヤ

作業上の注意	2	ロードホイール・タイヤ ASSY	5
・注意	2	・ホイールバランス調整	5
ロードホイール	3	・ローテーション	6
・外観点検	3	サービスデータ	7
・振れ点検	3	・ロードホイール	7
・取り外し	3	・タイヤ	7
・取り付け	3	・締付トルク	7
タイヤ	4		
・取り付け	4		

A

B

C

D

WT

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意

PF0:00001

注意

JES002Z

- 日産純正アルミホイールは、車両に合わせて設計しているため、指定車両以外に使用しないこと。
- アルミホイールのホイールナットは日産純正部品のテーパナットを使用する。
- 必ずホイールバランスを取ってから使用する。バランスウエイトは、日産純正部品のアルミホイール用ウエイトを使用する。
- 塗装、切削、メッキ処理されたホイールは特に傷が目立ちやすいため注意すること。
- タイヤの交換時はホイールのリム面を傷付けやすいので注意すること。
- アルミホイールは、傷が付きやすいため取り扱いには十分注意する。汚れを洗い落とす場合は、砂の入った石けん、ワイヤブラシ等は使用しないこと。洗剤は中性洗剤を使用する。
- 高速洗車機によるホイールの洗浄は避ける。
- 凍結防止の塩を散布する道路を走行した後は、ホイールを水できれいに洗う。
- タイヤ交換で取り外したときや車の下回りを洗浄するときは、ホイールの裏側も洗う。
- ホイールを取り付ける際は、ハブ面に汚れや異物がないように拭き取ってから取り付ける。
- ボルト、ナットのネジ部とナットの座面にオイルを絶対付着させない。
- 走行中に鋭い突起物を乗り越えたり、道路の縁石や歩道へ乗り上げたりすり当てたりしない。

ロードホイール

PF:40300

外観点検

JES00230

- ロードホイールに変形、き裂、損傷、腐食等がないか点検する。

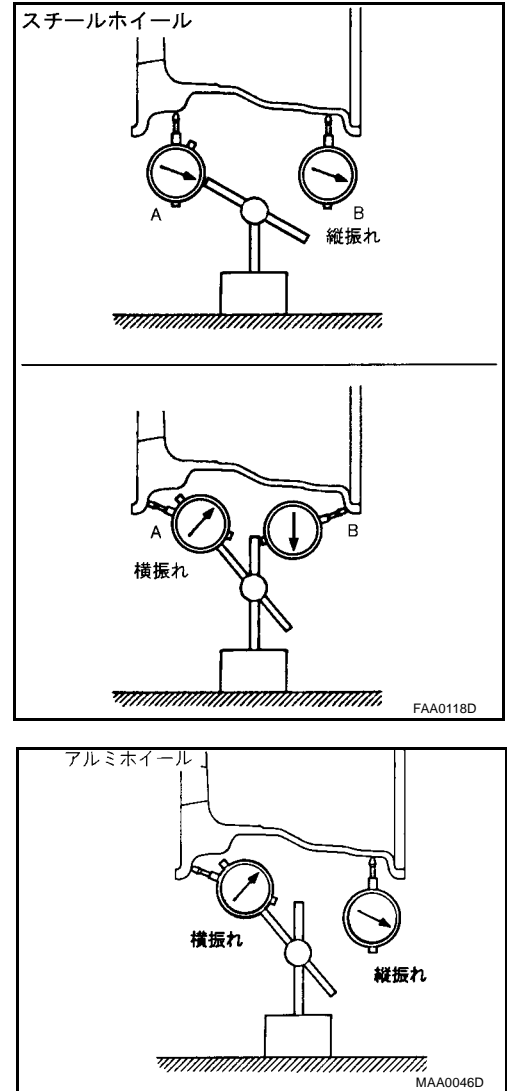
振れ点検

JES00231

- 車両をリフトアップする。
- ロードホイールからタイヤを取り外す。
- ロードホイールを車両に取り付け、図のようにダイヤルゲージをセットしホイールの振れ点検をする。

ロードホイール	アルミ	応急用（スチール）
縦振れ限度 (平均振れ値)	0.3mm 以下	1.0mm 以下
横振れ限度 (平均振れ値)	0.3mm 以下	1.2mm 以下

注：応急用スチールホイールはA、B部の測定値の平均値を振れとすること。



取り外し

JES00232

1. 車両よりロードホイールを外し、タイヤをロードホイールより取り外す。
 2. ロードホイールをバランサーにセットし、調整を行う。
- ロードホイールをバランサーにセットした後、ロードホイール上部にマーキングをする。

取り付け

JES00233

1. ロードホイールをバランサーより取り外す。
2. タイヤをロードホイールに取り付ける。
3. ロードホイールのマーキングを下にして車両に取り付ける。(ロードホイールをバランサーにセットしたときに、ロードホイールセット位置下側に隙間ができる。その隙間をロードホイールの歪みによって打ち消すため、バランサーにセットしたときのマーキング位置とは逆方向にロードホイールをセットする。)

タイヤ

PF:40300

取り付け

JES00234

- ロードホイールにタイヤを取り付ける際は、タイヤのビート部にタイヤマウントループ等の潤滑剤を塗布すること。
また、取り付け後は、必ずホイールバランスを調整すること。

ロードホイール・タイヤ ASSY

PFP:40300

ホイールバランス調整

JES00235

接着式バランスウエイト

取り外し

1. バランスウエイトをロードホイールより取り外す。
注意: ロードホイールに傷を付けないように注意すること。
2. 離けい剤（住友 3M No.4000 両面テープおとし相当）を用いて、ロードホイールに残った両面テープを除去する。
注意:
 - ロードホイールに傷を付けないように注意すること。
 - 両面テープを取り外し後、ロードホイールより離けい剤（住友 3M No.4000 両面テープおとし相当）を拭き取ること。

調整

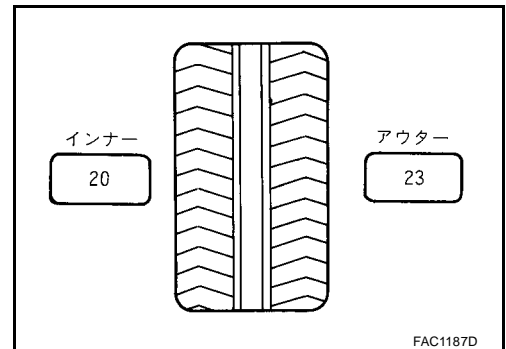
- ホイールバランスの機種によっては貼り付けウエイト用のモード設定ができるものがあるが、下記の作業を行う場合は打ち込みウエイト用のモードを選択して調整を行うこと。
1. 従来通りホイール balancer にロードホイールをセットし、ホイール balancer を始動させる。
 2. アウター及びインナー側のそれぞれのアンバランス量が表示されたら、表示されたアウター側のアンバランス量に 5 / 3 を掛け、これに最も近いウエイトを選択し、表示された位置（角度）にアウター側のウエイトをロードホイールに取り付ける。
注意: アウター側のウエイトを取り付ける前にインナー側のウエイトを取り付けないこと。
- 表示されたアンバランス量 × 5 / 3 = 接着させるウエイト量

計算例

$$23g \times 5/3 = 38.33g = 40g$$

- ウエイトを選択する場合、計算で出た値に最も近いウエイトを選択すること。

例	37.4 = 35g	37.5 = 40g
---	------------	------------



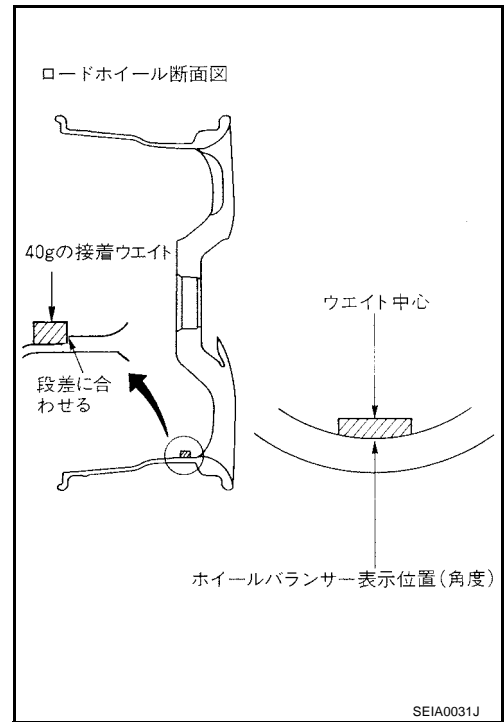
A
B
C
D
WT
F
G
H
I
J
K
L

ロードホイール・タイヤ ASSY

- 図の位置にウエイトを取り付ける。
- ウエイトをロードホイールに取り付ける際、図のようにホイール裏面の段差に合わせ、ホイール balanser 表示位置（角度）とウエイトの中心が合うように取り付けを行う。

注意： ウエイトは日産純正部品を使用すること。

- ウエイトは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
- 接着ウエイトは3枚以上取り付けないこと。

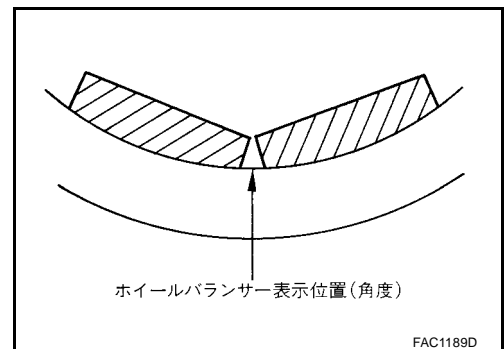


- 計算で出た値が 50g を越えた場合は、図のように2枚のウエイトを並べて取り付けること。

注意： 2枚のウエイトを取り付ける場合は、ウエイトを重ねて取り付けないこと。

- 再度、ホイール balancer を始動させる。
- 従来通り、ホイール balancer に表示されたアンバランス量及び位置（角度）に従い、打ち込みウエイトをロードホイールのインナー側に取り付ける。

注意： 打ち込みウエイトは2個以上取り付けないこと。



- ホイール balancer を始動させ、アウター及びインナー側の残留アンバランス量が片側 10g 以下であることを確認すること。

- なお、残留アンバランス量が片側 10g を越えた場合は最初からもう一度同じ作業を行う。

許容残留アンバランス量

動的（耳部にて）：10g 以下（片側）

静的（耳部にて）：20g 以下

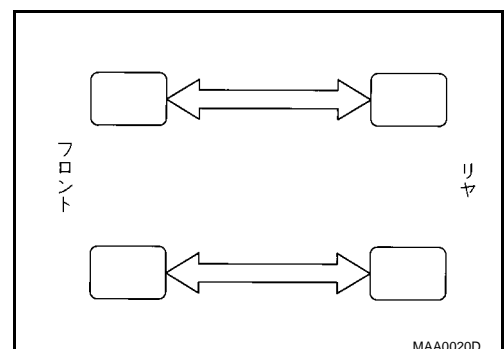
ローテーション

JES00236

- タイヤの偏摩耗を防ぎ寿命を伸ばすために約 5000km 走行ごとに図にしたがってタイヤの位置を交換する。

注意： ホイールを取り付ける際は、ホイールをひずませないように対角線の順序に2～3回に分けて締め付けること。

ホイールナット締め付トルク：108N・m { 11.0kg・m }



サービスデータ

サービスデータ ロードホイール

PF0:00030

JES00237

A

B

C

D

WT

F

G

H

I

J

K

L

ホイールの種類		アルミ	応急用スチール
振れ限度	横振れ	0.3mm 以下	1.2mm 以下
	縦振れ	0.3mm 以下	1.0mm 以下
許容残留アンバランス量	動的 (耳部にて)	10g 以下 (片側)	
	静的 (耳部にて)	20g 以下	

タイヤ

JES00238

タイヤサイズ	空気圧 (kPa{kg/cm ² })		適用
	前輪	後輪	
205/65R16 95S	200{2.0}	240{2.4}	• VQ25DD エンジン搭載車 (V 除く)
215/55R17 93V	210{2.1}	240{2.4}	• VQ25DD エンジン搭載車 V • VQ30DD エンジン搭載車 • VQ25DET エンジン搭載車 (AR-X FOUR 除く) • VQ25DD エンジン搭載車 (V 除く) にメーカーオプション
225/55R18 97H	200{2.0}	200{2.0}	• VQ25DET エンジン搭載車 (AR-X FOUR)
T145/90D16	420{4.2}	420{4.2}	• VQ25DET エンジン搭載車 (AR-X FOUR)
T155/90D16			• VQ25DET エンジン搭載車 (AR-X FOUR)

締付トルク

JES00239

ホイールナット	108N·m{11.0kg·m}
---------	------------------

